

占冠村令和7年度第1回ヒグマ市街地侵入対応訓練のご案内



今年も! ヒグマ訓練 実施します!!



近年の村のヒグマ対策は、日常生活においてはヒグマ情報の共有、人の行動管理、誘引物除去、草刈りといった「予防」を、現にヒグマが接近した際は職員の実力行使による「排除・無害化」を行い、結果として事なきを得ています。実力行使を要する事態への即応体制を維持向上するために、職員間あるいは関係機関同士の連携強化が望まれることから、昨年6月に占冠村と警察署が合同で、ヒグマの市街地侵入を想定した初めての訓練を実施しました。今後も想定を変えて訓練を重ね、応用力を高めたいところです。

そこで今回、初夏のホットゾーンと目される上トマムの街で、関係職員の練度向上を主眼とする訓練を以下の要領で実施します。地域の皆さまにはお騒がせしてご迷惑をおかけしますが、何とぞよろしくお願いいたします。また今回は住民の皆さまの実働訓練参加の枠組みを用意しておりませんが、観覧はできますので、ご希望の方は前日までにご連絡ください。

実施日時：6月4日(水曜日) 12:50～17:00

**訓練実施場所：占冠村字上トマム 鵠川本流沿い
(トマム学校～村道トマム北1線～村道戸沢線沿線)**

観覧者集合・解散場所：トマムコミュニティセンター

Bear Response Training, June 4, Kamitomamu town

どんな訓練? 村職員や警察官、捕獲従事者が神出鬼没のヒグマに振り回されながら、住民、学校、保育所の安全確保や原因個体排除に向け、臨機応変に判断し、実際に近い形態で行動します。いつなにが起きるかは秘密ですが、過去の実戦を通じて得た基本的な行動指針を、今回も試していきます。

- ㊦ 出来るだけ早くに専門職員を現場に投入し、状況の掌握を急ぎます。
- ㊦ 危険な領域に人がいれば移動させるなど、被害の発生を直接的に防ぎます。「情報発信だけ」は×。
- ㊦ 安全第一安心第二。情報周知先は折々の必要に応じて選択。実質的対応優先。現場は極力静穏に。
- ㊦ 闇雲な追い払いはいしない。状況に応じた具体的な目標を立てて捕獲もしくは移動誘発に臨みます。
- ㊦ ヒグマ出現は捕獲機会。後々のため、当座の危険がない状況下でも敢えて積極攻勢をとります。

なお訓練では実銃、実弾は用いません。本物のヒグマも連れこみません。

カリフリ山麓方面の村道を通行の方へ

訓練中、一部村道を一時通行止めにする行動想定を組みますが、通行できますので、現場スタッフにお声がけください。

可能であれば予め当区間を避けて「う回路」を利用いただき、訓練進行にご協力ください。



訓練観覧をご希望の方へ

ご案内しますので、6月3日まで下記担当までご一報ください。随時随所での観覧は、訓練の支障や付近住民の方へのご迷惑となる恐れもありますので、ぜひスタッフの案内のもと指定の観覧場所をお願いいたします。また報道機関による取材も予想されますので、予めご承知おきください。

主 催：占冠村・旭川方面富良野警察署

参加組織：富良野警察署(署・占冠駐在所)、占冠村農林課、トマム支所(含保育所)、村立トマム学校、富良野広域連合富良野消防署占冠支署、酪農学園大学、占冠村捕獲従事者各員



お問い合わせ先

占冠村役場 農林課 林業振興室
電話0167-56-2174
野生鳥獣専門員 浦田
野生鳥獣調査員 小田中